



# 大阪内モンゴル協会 会報 ～虹の架け橋～ 中国・内モンゴルとの友好・交流

2010年 1月 1日発行  
第2号  
発行：大阪内モンゴル協会  
大阪市淀川区西中島4-4-25-408  
内田 凱博  
編集：努恩達古拉(ノンダグラ)  
TEL: 06-6307-7704  
FAX: 06-6307-7709  
E-Mail: mongol@fuhbic.cim  
URL: www.fuhbic.com/mongol

大阪内モンゴル協会は皆様の暖かいご支援で活動しています。

新年明けましておめでとうございます。日本の正月は如何でしたか？現在の日本で特に東京や大阪といった都会では、正月の雰囲気は町並みの門松とか飾りでしょうか味わうことが出来ませんが、地方に行きますと昔ながらの正月風景が見られます、中国やモンゴルと同じように、日本古来の風習は今も健在で、紹介しますモンゴル族の正月・中国の正月と似ています。経済発展の影に人情とか風習とかが風化してしまふのは寂しい限りです。

大阪内モンゴル協会

## 平成22年を迎えて 内モンゴル協会よりご挨拶



は今年中に法人化して内モンゴル自治区との交流・砂漠化する大草原の緑地化運動・馬頭琴等の民族音楽の普及活動・留学生や社会人の方々の交流の場を大阪から日本全国に展開出来るように組織を拡充し、会の名称も2月には「日本・中国内モンゴル交流協会」に改称します。

友好者の集まりで、行き届いた活動には限界もあります。皆様のご支援により、草の根的活動から輪を広げてまいりますので宜しくお願い致します。

## 中国・モンゴル族のお正月

「春節(正月)」は内モンゴルにとってもっとも重要な祝祭日です。中国の「春節」は旧暦の1月1日(2010年は2月14日)で、中華人民共和国とともに西暦を使用するようになつてからは、西暦の元旦と区別するために、「春節」という呼び名が使われるようになりまし。春節の前夜を「除夕(大晦日の夜)」といつて、家族みんなが集まり、一家団欒で「年夜饭(大晦日の夜に食べる料理)」を食べます。そして年寄りや子供には赤い袋に入れた「お年玉」が贈られ、中国人は、大晦日に一晚中寝



ないでいると両親の寿命が延びる、と信じられていたため、一家全員が一晩中起きていて新年を迎えます。

モンゴル族では、チャガンサル(白い月)と呼ばれます。家族、親戚などが集まりごちそうを囲みながら、厳しい冬を乗り越えて春を迎える事に喜び、一年間の幸せを祈ります。

「チャガンサル(白い月)」の白はモンゴルでは純粋さを表現し、モンゴル人が尊ぶ乳の色でもあります。お正月は何も悪いことがない真つ白な月という意味もあります。元旦には日の出前に起き、きれいな民族服に着替え、それぞれの幸運の方向に歩き、功德の方向から戻ります。この儀式の後、大地にミルクを捧げ、日の出

とともに家族と挨拶を交わします。家族との挨拶が終わると知人、友人、親戚とのあいさつに1日何軒もまわります。自分の家に挨拶に来た訪問客をもてなすのも大切な行事です。あいさつ、チャガンサルは仏教に就いた行事で、ごちそうを口にする順番から挨拶のしかたまで、決まり事がたくさんあります。しかし、モンゴルの文化を一年で一番感じられる行事です。



敬頌新禧  
和氣致祥

## 大阪・中国内モンゴル協会

大阪から日本全国に、今年も友好と交流の輪を広げます。

事務局：大阪市淀川区西中島4-4-25,408  
TEL: 06-6307-7704 FAX: 06-6307-7709  
URL: www.fuhbic.com/mcngol

皆様の暖かいご支援をお願い致します。



# お正月特集

## モンゴル族お正月のご馳走

草原のお正月のご馳走の筆頭は、ヒツジを丸茹でにした「オーツ」です。食卓に大きく鎮座しているその姿は豊かさの象徴といえます。日本のにらみ鯛と同じように、すぐには食べません。薄く切ってつまみ食いを楽しむ

しむ程度です。作り方はヒツジを丸ごと茹でることが出来ないため1頭を解体して、いくつかに分けて、それぞれを数時間かけて茹でます。モンゴル在来種のヒツジは、お尻から尾にかけて座布団のような形状の厚い脂肪



新年のご馳走

を蓄えています。その脂肪も丸茹でにして、肉の上に。「オーツ」の隣には、小麦を練っ

た生地、草履ほどもある木型で模様を刻印したもの、脂で揚げたポーブを重ね、乳製品やお菓子で飾られた「ヘビンポーブ」が置かれます。この「ヘビンポーブ」は縁起を担ぎ奇数段で、年輩の方があるゲルほど、「ヘビンポーブ」の直径が、お祝いの意味で大きくなるそうです。「ポーブ」つくりは男性の仕事で、新年を前に徹夜

の仕事となるそうです。よじれないように揚げるのが熟練の技とのこと。木型はその家に代々伝えられ、吉祥模様が彫られています。「ヘビンポーブ」はお正月(三が日)が終わると崩され、待ちかねた子供たちのお腹に収まります。白い色の食べもの「ツアガンイデー」は、モンゴルにあつて、清浄な心を表す証とされています。

す。新年の食卓には「白い乳」、「米に砂糖を混ぜて炊いたもの」、「ヒツジの脂身を茹でて細長く切ったもの」など白尽くしで縁起を担ぎます。馬乳酒も冷凍にして保存していたものを一気に飲み尽くします。親戚、友人が訪ねてくると早速、モンゴル式のもてなしが始まります。練った小麦粉生地、小さく切ったヒツジの肉を包んで蒸した「ポーズ」

## 日本のお正月

日本でも昔は中国と同じように旧暦の行事です。正月とは1月の別名です。

日本の正月は、日本の行事の中で最も古くから存在するものだと考えられています。しかし、その起源はまだ詳しく

分かっていません。仏教が伝来した6世紀半ば以前より正月は存在していたと言われています。「お盆」の半年後にやってくる正月は、本来お盆と同じく「先祖をお祀りする行事」でした。

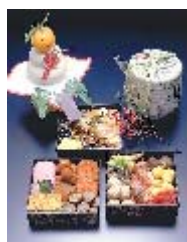
門松

その影響が強くなるにつれて、お盆は仏教行事の盂蘭盆会(うらぼんえ)と融合して先祖供養の行事となり、正月は歳神を迎えてその年の豊作を祈る「神祭り」としてはつきり区

別されるようになったと考えられています。また、現在のようなお正月の行事(門松やしめ飾り、鏡餅などを飾ること)が浸透したのは、江戸時代に入り庶民にも手軽に物品が手に入るようになってからのようです。

## おせち料理

おせち料理とは、正月に食べるお祝いの料理です。「おせち」とは本来、暦上の節句のことを指します。その際に食べる料理をおせち



おせち料理

料理と呼んだため、現在では節句の一番目にあたる正月の料理を表す言葉として使われています。おせち料理は「めでたさを重ねる」という意味で縁起をかつぎ、重箱に詰めて出されます。地方や家庭ごとにお重の中身は様々です

## お雑煮



お雑煮

お雑煮お雑煮は一年の無事を祈りお正月に食べる伝統的な日本料理です。沖縄を除く日本各地でお雑煮を食べる風習があります。餅の形やだし、具の種類にいたるまで、地方や家庭ごとに千差万別です。日本全国、お雑煮の形は様々です。

がその主役。小さめの「肉まん」です。お正月中に大人ではひとりあたり数百個のポーズがお腹に入っているのでした。満腹のお腹で新年を過ごすのがモンゴル式です。民族に伝わるお正月の料理に、民族の固有の習慣、考案者が深く反映されていることを実感しました。

(原稿来源: 酪農学園大学酪農学部食品科学科助教授 石井 智美氏) モンゴル便りよ

モンゴル民族料理と馬頭琴演奏

# モンゴルゲル

大阪市城東区鳴野東2丁目23-11 (JR片町線鳴野駅徒歩1分)

TEL: 06-7503-7352



り)

先日中国人のCさんから中国文化と日本文化について面白いお話を伺いました。ある日Cさんは日本人の友人数人と会食をしました。お皿にシューマイ一個だけ残っていたので、「この遠慮のかたまりをだれか食べて」と一人が言いました。するともう一人は「遠慮のかたまり」は中国語で

## 「遠慮の美学」

### 日本人と「目いっぱい自己主張」の中国人

何と云うの、と聞いてきました。一瞬考えましたが、「中国語にはそういう言葉がありません」と答えました。中国人は言いたいことをストレートに言い、よくも悪く「遠慮」はしません。それが、列に並ばない、タクシーは奪い合いといったシーンにもつながりますが、互いに感情をありのままに伝えること

ケーションがダイレクトにはかられます。ストレートだから、もちろん衝突も起こりません。慣れない人にとっては「きつい」と思われるときもあります。が、相手の言葉の背後にどんな意味が含まれているのか、いちいち深く推測する必要がないので、ある意味では楽です。Cさんはある

日本企業の品質管理世界大会で同時通訳を担当しました。中国、マレーシア、日本の各チームが品質管理の取り組みの活動をプレゼンしました。日本チームはおとなしくて控えめ、淡々と原稿を読みあげるだけ。対して中国チームは20分の原稿を全文暗記、ときに少々過剰なポーズがありながらも、実に感情豊かなメリハリのきい

たプレゼンでした。「控えめの美」を提唱する日本と、とにかく目いっぱい自己主張をする中国。こんなところにも日中文化の違いが表れるのね。「遠慮の美学」、どこまで「遠慮」をし、どこまで自己主張を貫くか、来日して16年が経つたいまでもCさんは判断に悩むことが多いようです。ひとつだけ言えるのは、京都の皆さんは、招いた中国人に「お茶漬けでも如何ですか？」と絶対聞いてはいけません。

中国人は、本当に食べますから。「おかわり、ありますか？」とまで、聞くかもしれませんよ。

## ユネスコの世界遺産

エルデニゾーで碑文断片や墨書発見  
モンゴル国現存最古の佛教寺院

2009年9月、日本モンゴル共同学術調査隊（日本側代表・大谷大学松川節）はモンゴル帝国の首都カラコロム遺跡に隣接していた「エルデニゾー寺院」からモンゴル佛教史解明の貴重な資料となる碑文の断片や墨書が新たに見つかったと発表した。エルデニゾー寺院はモンゴルの首都ウランバートルの西南西約380キロにあり、約500メートル四方の外壁に囲まれ、最盛期は62寺など500余の建造物がありました。が、現在13の仏殿が残る。今回見つかったには、当時首都カラコロムに13世紀に佛教寺院があったことを示す「勅賜興元閣碑」（ちよくしこうげんかくひ）の断片（縦40センチ、横30センチ）。漢文とモンゴル文字が刻まれており、



エルデニゾー寺院



山口年子さん

大道芸のちんどん公演をする山口年子さん仲間たちが、ちんどん活動で得た資金で中国・内モンゴル自治区東部ホルチン地方の村で、井戸掘りや家畜小屋建設のボランティア活動に取り組む。現地

「縁あるたくさんの方に笑いと幸せを」  
—ちんどん活動で内モンゴルの人々を応援している

### 山口年子さん

遊牧民の年一度行われる草原の祭りである「ナーダム」で日本の着物を披露するショーを開催するほか、鯉のぼり職人から寄贈を受けた鯉のぼりを内モンゴルの子供たちに届け、日本と内モンゴルの文化交流を深めたいとしている。としちゃんと皆さんに親しく呼ばれてきた山口年子さんは中国・内

モンゴルの子どもたちのための学校を建てることを目的に、ボランティア活動はじめてのは2000年。中国内モンゴル自治区に日本の文化を広めるイベントに参加しており、その子供たちとの出会いがきっかけになった。日本と比べ恵まれてない環境で満足に教育が受けられずとも、子供たちのキラキラ輝く目が心に残り、明るく生きようとする彼ら

# モンゴルの環境は？

モンゴルといえば、大草原に羊の群れ！ 澄み切った空気！！と、というイメージですが、日本人が一般的に持っているモンゴルに対して持っているイメージ以上に、モンゴルでは近代化が進んでいる。モンゴルは、1190年代の市場経済導入から約20年を経て、政治・経済・社会の制度が大きく変化しました。首都ウランバートルの中央にはたくさんビルが建てられ、自動車も増え続けて、日本みたいに街では流行りの音楽が流れ、HIP-HOPも好まれて聞かれています。ゴミ、工場からの排煙、自動車の排ガスなどの被害は益々環境に悪影響を及ぼしている。

国民の生活基盤も、長い年月綿々と継続してきた、自然との間にバランスを保って暮らす遊牧生活が変貌・崩壊しつつある。それに応じて、牧民の大都会への流入、人口過密によるウランバートルの環境汚染、貧困問題、現金収入を求めての過放牧による牧草地荒廃、金鉱山等の開発に伴う河川水・地下水の汚染など、さまざまな環境問題が発生し始めている。おだやかな地域ごとの安定から苛烈な競争主義への風潮への移行とともに、人心の荒廃も懸念される状態です。然環境変化ははなはだしく、さらに、高緯度地域にとくに顕著にあらわれるという地球温暖化の影響も、緊急の課題となってきました。1990年代からは、諸外国の研究者がモンゴル国の自然環境や環境変化に注目して、調査・研究を始めた。特に日本の研究機関・NGOなどは、距離的に近い関係もあって、多くの人々をモンゴル各地に送って、自然環境の調査・研究・環境回復事業などを行っていています。（写真：遊牧民の家 内モンゴル新聞社 リンチンソウ 提供）

植林地帯を貫く烏漫線を三輪の軽トラックで往く。ポプラの苗木を傍らに荷台から西の方を望むと、山脈を連ねたように南北に砂丘が続き、またその尾根をなぞるように高さ十



大道卓矢さん寄稿

## 沙漠緑化

―緑の長城から得る“気付き”―

メートル程のポプラが並木を成している。思わず隣に腰掛けているボランティア仲間に向け「緑の長城ですね」と口走っていた。

かの「万里の長城」は、北方騎馬民族の襲来を防ぐために築かれた。ここ、庫布其（クブチ）沙漠の恩格貝から中国の沙漠緑化に挑んだ故・遠山正瑛氏は、まさに「緑の長城」を築くべく日々ポプラを植え続けたという。



恩格貝

私は2009年の秋、遠山氏の設立した日本沙漠緑化実践協会を通じて長期の植樹活動に従事した。しかし、沙漠は本来、人間の営みとは関係なくそこに存在する、多様な自然環境の一部であり、そこに遠大な時を経て生まれた生態系を変えてゆくのは、人間のエゴではないだろうか、と思っていたものだ。

そこで翻って「沙漠緑化」とは何だろう？と考える時、「緑の長城」に出会って気付くのだ。やるべきは、種々の人間活動により、“人災”により広がる沙漠を治めることだ、と。実は、ポプラの寿命は八十年ほどである。人間はそこに次



緑地化事業

代の緑豊かな未来を夢見るようでも、大自然にとっては刹那の仕置き、傷口に貼る一枚の絆創膏のようである。しかし一枚の絆創膏は、そこに傷口があることを人々に気付かせる。心ある人々は傷の原因を深く洞察し、知恵を尽くした処方箋をもたらずだろう。まずは多くの人々の“気付き”を望むところだ。



緑地化実践

### 「編集者から」

編集者は内モンゴル・モンゴルへ行かれる前後にお会いしました。砂漠緑地化実践と言う遠大な活動の中、自然環境の大切さを実感されています。モンゴル語を勉強され、日

本人として誇れる活動を期待しています。

自動窓拭き洗浄装置・自動制御システム・コンテナバック



ジャパンフービック株式会社

大阪内モンゴル協会を積極支援します。

大阪府淀川区西中島4丁目4-25,408 TEL:06-6307-7704 FAX:06-6307-7709

# 草原のチェロ

## 馬頭琴の奏で

### 馬頭琴とは

馬頭琴はモリンホールと言われ弦の本数が二本の擦弦楽器。「馬の楽器」という意味である。楽器の棹の先端部分に馬の頭の形をして、いるため、日本では中国と同じ馬頭琴(ばとうきん、中国語の名前で呼ばれる。主にモンゴル国や中国の内モンゴル自治区あたりで使用されている。日本では「スーホの白い馬」の物語の中に出てくる楽器として有名である。



馬頭琴奏者 タイピンさん

モリンホールはヴァイオリンや二胡等と同じ擦弦楽器で、モンゴルの代表する弦楽器である。

る。特徴として先端が馬の形を模した棹、四角い共鳴箱に2本の弦から構成される。西洋の弦楽器とは異なり、演奏者から見て左側が低音、右側が高音弦となる。また弦を支える駒が上下にあり、音程の微調整にも利用される。本体は木材を用いる。旧来は共鳴箱の表面にヤギや子ラクダ、子馬などの皮革を張っていたが、モンゴル国では1960年代にソ連の楽器職人D・ヤローヴォイの指導により、内モンゴルでは1980年代になってB・ダルマーやチ・ボラグラが中心になって、木製の表板を用いるように改良が加えられ、さらにf字孔や魂柱などの要素も加わった。弦と弓はウマの尾毛またはナイロンを束ねて作る。ウマの尾毛の場合、低音弦は100-130本、高音弦は80-100本、弓は150

本-180本程になる。モリンホールは内モンゴルとモンゴル国で、音程や材質に違いが見られる。2本の弦の音程は、内モンゴルでは高音弦でド(C)、低音弦でソ(G)なのに対し、モンゴル国では高音弦でシb(Bb)、低音弦でファ(F)となる。本体の共鳴箱や棹の材質は製作者によって異なるが、内モンゴルではエゾマツやシロマツなどの松材を用い、モンゴル国ではシラカバを用いる場合が多い。その他、装飾や構造などにも幾つかの差異が認められる。音質は柔らかく奥行きのある響きで、チェロやヴァイオリンのような澄んだ音にはないノイズの含有が、モリンホールの特徴的な音質を形作っている。そのため、草原のチェロとも呼ばれている。また、



馬頭琴

三味線のように数種類の調弦があり、演奏者や曲目、地方などにより変更される。ギターのようなハーモニクス奏法も可能である。

日本では小学校の教科書にも出てくる物語です。

### スーホの白い馬

スーホの草原に、スーホという貧しい羊飼いの少年が住んでいました。スーホは、毎日おばあさんを手伝って、羊を広い草原に連れていきました。

ある日スーホが羊を連れて草原に行くと、そこで真っ白い子馬と出会いました。草原に子馬が一頭きりで、親馬の姿がどこにも見えないので、親にはぐれたか、あるいはたぶん

親が亡くなって、さみしくしていたのでしよう。子馬はスーホにすっかりなつたようだったので、家につれて帰ってききました。スーホはその子馬を一生懸命育てました。子馬はすくすく育ち、とてもきれいでたくましい白馬になりました。ある日、王様が競馬大会を開きました。そこにスーホは白い馬と出場することになりました。一等になると、なんと王様の娘と結婚できるというのです。まちで聞いたうわさでは、とてもきれいな娘らしいとのこと。そしてみごと、スーホと白い馬は、一等になりました。でも王様は、娘と結婚させるという約束をまもりませんでした。貧しい羊飼いのスーホを娘に会わせようとせず、その上、王様は白い馬を自分のものにしたくなりしました。「お前の白い馬が気に入ったぞ。わしが乗ってやるから、城に置いていけ。でもわしはやさしいから、ほれ、代金を払ってやる」といって、銀貨3枚をスーホの前に放り投げました。大切な馬を置いていけと言われ、呆然としているスーホに、王様は追いつちをかけるように怒鳴りたてました。「出て行けといったら、さつさと出て行け！その馬はわしのもんだ！」すると王様の家来たちは、銀貨3枚を無理やりスーホのポケットにねじ込むと、スーホを羽交い絞めにして、さんざんなぐって、そしてお城の外へ放り出しました。スーホはお城の前にある市場の前に放り出され、馬を返してくれと泣きまわりました。市場はいろんな店が並んでとてもにぎやかなのに、スーホの悲しい気持ちを少しも癒してくれません。スーホはやがて、とぼとぼと歩いて家に帰りまわりました。王様は満足げに白い馬を見つめ、その上に乗ろうとしました。でも白い馬は、王様から乗ろうとしたところを振り落とし、兵隊たちが並ぶ間を抜けて走り

出しました。振り落とされて尻を打った王様はかんかん怒り、「あのけしからん白い馬を射ち殺せ！」と叫びました。白い馬には、兵隊たちの放つ矢が雨のように降り注ぎました。家に戻ったスーホは、白い馬と別れたことが悲しくて、しくしく泣いていました。そこに、白い馬が帰ってきました。でもその白い毛は、ほとんど血で真っ赤に染まっていた。スーホの顔を見ると、白い馬はやつと安心してような顔をして、そして静かに倒れていきました。「死んじゃいやだー！」と泣きながら、スーホは家から駆け出していきましました。それから1年、モンゴルの草原に、悲しげな楽器の音色が響くようになりました。スーホの弾くその楽器には、白い馬の皮が張られていました。美しくも悲しげなその楽器は馬頭琴と呼ばれ、モンゴル中に広まりました。

てやる」といって、銀貨3枚をスーホの前に放り投げました。大切な馬を置いていけと言われ、呆然としているスーホに、王様は追いつちをかけるように怒鳴りたてました。「出て行けといったら、さつさと出て行け！その馬はわしのもんだ！」すると王様の家来たちは、銀貨3枚を無理やりスーホのポケットにねじ込むと、スーホを羽交い絞めにして、さんざんなぐって、そしてお城の外へ放り出しました。スーホはお城の前にある市場の前に放り出され、馬を返してくれと泣きまわりました。市場はいろんな店が並んでとてもにぎやかなのに、スーホの悲しい気持ちを少しも癒してくれません。スーホはやがて、とぼとぼと歩いて家に帰りまわりました。王様は満足げに白い馬を見つめ、その上に乗ろうとしました。でも白い馬は、王様から乗ろうとしたところを振り落とし、兵隊たちが並ぶ間を抜けて走り

出しました。振り落とされて尻を打った王様はかんかん怒り、「あのけしからん白い馬を射ち殺せ！」と叫びました。白い馬には、兵隊たちの放つ矢が雨のように降り注ぎました。家に戻ったスーホは、白い馬と別れたことが悲しくて、しくしく泣いていました。そこに、白い馬が帰ってきました。でもその白い毛は、ほとんど血で真っ赤に染まっていた。スーホの顔を見ると、白い馬はやつと安心してような顔をして、そして静かに倒れていきました。「死んじゃいやだー！」と泣きながら、スーホは家から駆け出していきましました。それから1年、モンゴルの草原に、悲しげな楽器の音色が響くようになりました。スーホの弾くその楽器には、白い馬の皮が張られていました。美しくも悲しげなその楽器は馬頭琴と呼ばれ、モンゴル中に広まりました。

# (宮崎県都城市) 都城モンゴル友好協会

## 活動紹介

1999年、都城市とモンゴル国ウランバートル市は友好交流都市の盟約を締結しました。そのきっかけは、モンゴルの遊牧民の子どもたちに「明かり」を届けたいという市民の声でした。都城高専の先生方を中心に、「モンゴルに風力発電機を贈る会」が設立され、モンゴルの環境を考慮した風力発電機が開発されました。その後、毎年、遊牧民宅や地方の病院などに風力発電機が届けられています。現在、都城市役所にはモンゴル人国際交流員が常勤し、幅広い交流が行われています。さらには、地元ケーブルテレビのモンゴル支局ができ、モンゴル情報番組が毎日都城で放送されました。地元企業によるモンゴルの乳酸菌研究が行われたりするまでに

動に取り組んでいきます。三輪真紀子さん寄稿

## 中国情報BOX

### 2010年

中国成長率 9.1%

中国社会科学学院は12月7日「2010年経済青書」を発表して、2010年の中国国内総生産(GDP)実質成長率を9.1%と予測した。今年は8.3%と見込んでいた。当院は、今年も公共事業など投資が中国経済をけん引したが、2010年は世界経済の回復で、輸出が改善するなど成長の構図が変わるとみている。2010年の輸出は2009年大きく落ち込んだ反動で、17.3%増と予測。固定資産投資は減速しながらも23.9%増、消費は一段と加速して個人消費の指標である小売総額が18.4%増とみている。但し、日本等諸外国の

見方は少し異なり、中国経済は先行きにかげりが出てきたとして懸念している。

## 年間の世界最大 中国新車販売 1300万台に

中国国営通信の新華社が12月7日、中国自動車工業協会の統計として伝えたニュースによると、中国の今年1~11月の国内新車生産・販売台数がともに1200万台を超え、年間ではいずれも1300万台を上回る見通しになった。生産・販売台数ともに、年間で初めて世界最大になるとしている。1~10月の販売台数は約1089万台で、11月単月も100万台を大幅に上回ったと見られる。月間販売台数が100万台を超えるのは今年3月から9カ月連続。

## 胡春華氏が 内モンゴル自治区 トップに

### 党委員会書記昇進

中国共産党中央はこのほど、地方指導者の人事で、2012年の第18回党大会に向け、「ポスト胡錦濤」の次の世代で「第6世代」と言われる40歳代の人物を相次ぎ抜擢(ばつてき)した。中でも注目されるのが、「政界の精鋭」(中国紙)と呼ばれる胡春華(河北省長(46)の内モンゴル自治区トップ(党委員会書記)への昇進。胡氏は胡錦濤国家主席の直系だ。胡春華氏の人事は、少数民族地区のトップとしての行政経験を積ませる目的のようだ。内モンゴルは石炭などを産出する重要なエネルギー地帯でもある。「原稿来源」…産経新聞より

## 都市部には 建設ラッシュの波

首府フフホト(呼和浩特)市はベンツやBMW、トヨタのレクサスなど高級車がひっきりなしに走り、その横を自転車やミニバイクが行き交う。路地をひとつ入れば、リヤカーで果物や野菜を売る場面にも遭遇する。過去と未来が交錯しているように思えた。

「ここ3年ほどは建設ラッシュですね」と通訳の男性は言う。街の中心部では建設中のマンションなどが目立つ。価格は2LDKで300万~1000万円。しかし、市民の平均月収は10000円(日本円で約1万6000円)。将来的な価格の上昇を見越した不動産売買で、購入するのは北京や上海の富裕層がほとんどという。「原稿来源」…「中国内モンゴル自治区」に関連するニュースより

## 中国人へ個人ビザ解禁

3ヶ月で発給4千件超 日本政府が今年の7月、日本を訪問する中国人へ観光ビザを、従来の団体や家族に加え、富裕層の個人にも解禁。今後来日者数が増えると思込まれるためだ。旅行関係業者は経済成長著しい中国からの旅行者の呼び込みにも知恵を絞っている。中国のカード「銀聯」の使用、中国語での案内や意見徴収、最新医療機器である陽電子放射断層撮影装置(PET)を使い早期ガン発見検査ツアール、百貨店や家電量販店、レジャー施設を中国語で紹介するなど、中国の個人観光ビザ発給件数は7~9月で4435件。個人ビザの54%は上海の日本総領事館が発給。個人観光客の85%が東京、25%が北海道を訪問していた。